



ボランティアで 海岸清掃

3月5日(土)、益丸海岸の清掃活動がおこなわれました。これは、身近な海辺の清掃を通じて環境問題について考える取り組みとして全国のロータリークラブ(RC)が実施しており、南九州大崎RCが下記団体に呼びかけ実施されたものです。

拾ったごみは総重量約120キログラムに及び、水洗い後に分別し、資源化できるごみをそおりサイクルセンターが回収しました。

【参加団体】

南九州大崎ロータリークラブ・県建築士協会
曾於支部・県建築協会曾於支部・志布志ホークス・そおりサイクルセンター(約70名が参加)

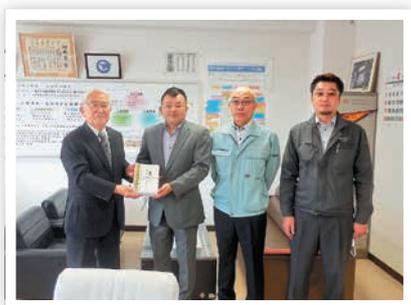


大崎中3年生が クリーン作戦を実施

3月9日(水)、大崎中学校3年生が、中学校からくにの松原までを3コースに分かれて、道路のごみ拾いを実施しました。

ごみが多く捨てられていた場所もあり、集まったごみは30袋分になりました。同校では、環境問題やSDGsについて日頃から積極的に取り組んでおり、今回集めたごみも資源化できるものとそうでないものに、生徒同士で話し合いながら分けていました。

岡元美華^{みか}さんは「特にマスクやタバコの吸い殻が多く捨てられていたので、環境のことをもう少し考えてほしいなと思いました」と話されました。



県トラック協会が 交通安全教材を寄贈

3月11日(金)、公益社団法人鹿児島県トラック協会の皆さんが教育長室を訪れ、交通安全教材の贈呈式がおこなわれました。

これは、交通事故防止の啓発活動として、県内小学校の新入学児童を対象に毎年贈呈されているものです。

贈呈式では、交通標識などが描かれた定規が115本寄贈され、各小学校に配布しました。



サロ^ン オンラインで 意見交換

2月21日(月)、中村1区サロン「IKKU」で町長講話と意見交換会が開かれ、新型コロナウイルス感染症予防の観点から町長はオンラインで参加しました。

講話ではテーマ「持続可能なまちづくりをめざして」について、資源ごみリサイクルやふるさと納税、人口・児童生徒数の推移などについて話しました。

意見交換でいただいた貴重なご意見は、今後の町政運営の参考にさせていただきます。



企業版ふるさと納税を活用 した寄付をいただきました

本町が実施するSDGs推進事業に対して、株式会社久永(鹿児島市)から企業版ふるさと納税を活用した寄付をいただき、1月26日(水)、感謝状を贈呈しました。

久永^{しゅうへい}修平代表取締役社長は「弊社もSDGsに取り組んでおり、人材育成、健康経営、環境経営など目標を持って仕事をしています。一緒に、SDGsに基づいた未来を築いていきたいと思っています」と話されました。